

旭川赤十字病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする生命科学・医学研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先にご照会ください。

〔研究課題名〕

極性制御分子の発現・局在からみた古典的乳頭状腎細胞癌と Papillary renal neoplasm with reverse polarity の分子生物学的特徴の解析

〔研究の目的〕

腎臓に生じる悪性腫瘍、腎細胞癌はその組織学的な特徴や遺伝子変異に基づいて、様々な組織型（癌の種類）に分類されています。その中でも、乳頭状腎細胞癌（papillary renal cell carcinoma：PRCC）は比較的頻度の高い組織型で、近年は研究が進みその疾患概念の見直し、再検討が進んでいます。さらに、PRCCには通常型（古典的PRCC）のほかに亜型（組織型のより細かな分類）が存在し、近年新たな亜型として Papillary renal neoplasm with reverse polarity（PRNRP）が追加されました。しかし、古典的PRCCや特に亜型のひとつであるPRNRPの生物学的特徴については、未だ十分に解明されていません。

本研究では、当院で手術され、PRCCおよびPRNRPと診断された患者さんの手術検体を用いて、古典的PRCCやPRNRPの様々な分子の発現等について病理組織学的に解析し、両疾患の分子生物学的特徴の違いを明らかにすることを目的とします。

〔研究代表者名・所属〕

多田 聡法（旭川赤十字病院 病理診断科）

上小倉 佑機（旭川赤十字病院 病理診断科）

〔研究内容〕

本研究は、治療目的に採取され病理診断後に保存されている既存の病理検体および組織標本、診療情報を用いて行う後ろ向き観察研究です。対象の病理検体から未染色標本作製、免疫組織化学を実施、評価します。なお、本研究のために新たな検査や治療を行うことはありません。

○対象

2015年1月1日から2025年12月31日までの間に、旭川赤十字病院において外科的切除術を受け、病理組織学的にPRCCまたはPRNRPと診断された患者さん。

○方法

対象となる患者さんの病理検体から未染色標本を作製し、免疫組織化学を実施します。免疫組織化学では、細胞極性制御分子として、claudin family（特にCLDN4, CLDN8, CLDN16, CLDN19等）、occludin、PAR3/PAR6/aPKC（PAR complex）、E-cadherin、ERM、EBP50、Zonula occludens（ZO） family（特にZO1、ZO2等）、L1CAM等に対する抗体を使用します。実施した免疫組織化学標本で、各抗体に対する染色強度、染色範囲、細胞内局在を評価し、古典的PRCCおよびPRNRPの評価結果を比較します。

○使用する情報

年齢、性別、臨床病理学的因子、病理診断名や病理学的所見、その他研究に必要な診療情報

[個人情報の取扱い]

研究に使用する情報は、個人を直接特定できないよう連結可能匿名化を行った上で使用します。対応表は研究責任者が厳重に管理し、研究データは適切に保管します。また、本研究で得られた情報は研究目的以外には使用しません。

[研究への参加について]

本研究は、通常診療で得られた既存情報のみを用いる後ろ向き観察研究であり、研究対象者の方への新たな侵襲や身体的負担はありません。

また、本研究への参加・不参加によって診療上の不利益を受けることはありません。

[研究への不参加の申し出（オプトアウト）]

ご自身の情報を本研究に使用されたくない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。お申し出があった場合は、研究対象から除外いたします。

<研究責任者・実施担当者>

責任者：病理診断科 部長 小幡 雅彦

担当者：病理診断科 医師 多田 聡法

医師 上小倉 佑機

<問い合わせ先>

〒070-8530 旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 病理診断科 医師 多田 聡法/上小倉 佑機

TEL : 0166-22-8111

FAX : 0166-24-4648